

マラウイ通信

渡邊拓人 17-2
行政サービス
ドーフ県立病院

〈大会中〉



薬箱に各薬品
名を張ります



私の相棒が指
導しています



机の中身を全部
出して、整理



いいスマイル！



私は、前後写真を
撮りアドバイスを

〈大会後〉



Before



After

どこに何があるかを表示し、定位置が決められた倉庫はすっきりし使いやすくなった。



Before



After

棚の中にラインを引き、ぐちゃぐちゃになるのを防ぐ事により整頓が保たれる。

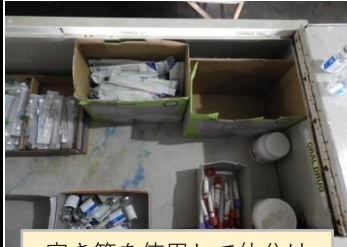


Before



After

必要でないものは置かず、注射器もサイズごとに分け使いやすくなった。



空き箱を使用して仕分け



新生児のベッド番号



患者用手洗い場の新設

〈表彰〉

1ポイント差で男性病棟が女性病棟を下し優勝!!!



【後記】次々と先輩隊員は任期を終え、日本へと帰って行きます。気づけば我々がマラウイ隊員の中で2番目に古い隊次となりました。今後の進路の決まてない人は新たな目標の為に色々考えている模様です。自分の周りの人の進路を見ていると、他人なのですが凄く面白く感じます。新たなビジネスを開業する人や、海外の大学へ進学したり、離島でナースをしたり、世界一周に旅立って行ったりと。協力隊に来てみて変わった自分の感覚として、今までは自分の中で普通と思っていた世の中の狭さです。何をもち「普通」と自分の中で定義していたか分かりませんが、「ちょっと出かけてくる」といった感じで、恐れず世界へと挑戦していく彼らを見ていると、大きな勇気を貰えるし、本当に人生とは自分次第で大きく変わるものだとか心から感じます。

【続編・5Sコンペティション】今回のコンペティションを行った事で最も評価したい点は、スタッフが自ら動いたという事です。きっかけは競争意識であれ、彼らが気付き考えて行動した事は、少なからずスタッフの心の中に残り、病院にとって、より良い医療環境を継続してくれるだろうと思います。また今回は、なかなか成果を出せなかった病棟も、他の病棟と比べた現実を受け止め、今後5Sを頑張るきっかけになってくれればと思います。実は大会の景品として、熊本からいくつかの品物を分けてもらいました。景品のタオルや、エコバック、中古のボールペンでも日本の物であれば大喜びです。改めて日本製品に評価の高さを感じました。本当に心から協力に感謝します。